

短報 Short Communication

日本海大和堆で採集されたマッコウタコイカ *Gonatopsis makko*
(ツツイカ目テカギイカ科)

一澤 圭^{1*}・川上 靖¹・本田夏海²・倉長亮二²

¹〒680-0011 鳥取市東町2-124 鳥取県立博物館

²〒684-0046 境港市竹内団地107 鳥取県水産試験場

*E-mail: ichisawak@pref.tottori.jp

[受領 Received 25 January 2006 / 受理 Accepted 6 March 2006]

A record of a gonatid squid *Gonatopsis makko* (Teuthida: Gonatidae) captured near the Yamato Bank, central region of the Sea of Japan

Kei ICHISAWA^{1*}, Yasushi KAWAKAMI¹, Natsumi HONDA² and Ryoji KURANAGA²

¹Tottori Prefectural Museum, Higashi-machi 2-124, Tottori, 680-0011 Japan

²Tottori Prefectural Fisheries Experimental Station, Takeuchi-danchi 107, Sakaiminato-shi, Tottori, 684-0046 Japan

Abstract: A record of a gonatid squid, *Gonatopsis makko*, was reported. This is one of the scarce records of the large individual of this species captured in the Sea of Japan. A brief comment on the taxonomical problem of this species was given.

Keywords: *Gonatopsis makko*, the Yamato Bank, the Sea of Japan

はじめに

マッコウタコイカ *Gonatopsis makko* Okutani & Nemoto, 1964 は、テカギイカ科に属し、胴部が細長く、鰭が小さいこと等によって特徴づけられる。また本種を含むタコイカ属のイカは、成長の過程で2本の触腕を失うといった特質を持つ。本種は初め、ベーリング海におけるマッコウクジラの胃内容物中から見いだされた標本に基づいて記載され、その後は北太平洋やオホーツク海、日本海において、深海トロール漁獲物やクジラの胃内容物中から報告されている（尾形ほか1973；Okutani et al. 1976；Okutani et al. 1988；奥谷2000）。一方、日本海から記載されたニッポンタコイカ *Gonatopsis japonica* Okiyama, 1969 は、マッコウタコイカと同一種の未成熟個体であると考えられている（Nesis 1987）。「ニッポンタコイカ」として記録された小型個体を除くと、日本海では「マッコウタコイカ」の記録はあまり多くなく、尾形ほか（1973）が大和堆や新隠岐堆周辺の水深700~1120mの地点で採集している他、但馬沖の水深245mの浅所で得られた記録（玉木ほか1990）がある程度である。

今回、鳥取県水産試験場が資源調査を依頼していたベニズワイガニ漁船により、日本海大和堆付近でマッコウタコイカと同定された大型標本が採集された（図1）。本種の分布に関する一情報を提供するものとして、ここに報告する。

標本データ

採集日：2005年4月24日、採集位置：39°47'N, 134°15'E、水深約880m、採集者：第三十八吉丸、採集方法：ベニズワイかにかご。生鮮重量：326.3g、外套背長：28.5cm、鰭長：9.5cm、第1腕長（右・左、以下同じ）：21.0cm・21.0cm、第2腕長：20.5cm・21.5cm、第3腕長：23.0cm・22.5cm、第4腕長：18.0cm・17.5cm。標本はホルマリン液浸として鳥取県立博物館に保管している。

付記

本種は当初、アラスカ湾においてマッコウクジラの胃内容物中から見つかった標本をもとに、タコイカ *G. borealis* Sasaki, 1923 の亜種として記載・発表され



図1. マッコウタコイカ (2005年4月24日 日本海大和堆)

た。その後独立種として扱われるようになったが、その分類上の取り扱いについては問題が残されている。

Nesis (1997) は、これまで「マッコウタコイカ」と同定されたもののうち、マッコウクジラの胃内容物から得られたものの多くは、本種のホロタイプ標本を含め、ササキテカギイカ *Gonatopsis madokai* Kubodera & Okutani, 1977 のメスではないかと述べた。また日本海においてトロール等で漁獲された「マッコウタコイカ」は、ニッポンタコイカと同一種であると見なしている。これらのうち記載・発行年が最も早いのはマッコウタコイカであるが、本種のホロタイプが消化されなかった不完全な標本であるとし、それぞれササキテカギイカ、ニッポンタコイカの学名を有効名として扱っている。

しかし、マッコウタコイカのホロタイプ標本をササキテカギイカのメスだとする根拠は、後者が成熟の過程で触腕を脱落させ、またその際に触腕の根元部分の痕跡が残らず、前者と同様に見えるようになる場合がある (Nesis 1989)、ということによる。触腕以外の形質については触れられていない。これで両者を同一種とみなすには、まだ根拠が不十分と思われる。

さらに、マッコウタコイカの原記載を見る限りでは、マッコウクジラの胃内容物から出てきたとはいえ、記載を無効としなければならないほど損傷を受けているようには考えられない。さらに、外套長に対する鰭長の割合や、外套長に対する腕長の割合は、ササキテカギイカのそれとは明らかに異なる。

また、ニッポンタコイカとマッコウタコイカが同一種であるとする根拠は、前者ではこれまで小型の未成熟個体しか得られておらず、後者では逆に小型の個体が得られていないことによる (Nesis 1987)。両者の間では、鰭の形態や外套長に対する鰭長の割合などが異なる (Okuyama 1969) が、これが同一種の成長過程にともなう形態変化によるものか、あるいは別種で

あることを意味するのかは確認されておらず、今後の研究を要する。いずれにしろ、両者のうち「マッコウタコイカ」の方が先に記載・発表されている。

以上のことから本報では、マッコウタコイカ *Gonatopsis makko* Okutani & Nemoto, 1964 の名前が有効であると見なし、当該標本に対してこの名前を用いることとした。

なお、この問題については、今後、マッコウタコイカのホロタイプ標本、日本海および北太平洋で得られる「マッコウタコイカ」・「ニッポンタコイカ」・「ササキテカギイカ」と同定される標本の形質について、あらためて詳細な比較検討を行い、またそれぞれについて生活史を明らかにしていくことも必要であろう。

謝 辞

ベニズワイガニ漁船「第三十八吉丸」の中嶋健次船長ならびに乗組員の方々には、当該標本を採集し、鳥取県水産試験場に提供していただいた。またその際、「有限会社 日吉水産」の職員の方々には、船との連絡・交渉等でご尽力をいただいた。国立科学博物館の窪寺恒己氏には、マッコウタコイカに関する資料を提供していただき、有益なご助言をいただいた。以上の方々に深く感謝の意を表する。

引用文献

- Nesis, K. N. (1987) *Cephalopods of the World*. T. F. H. Publications, Neptune City, 351pp.
- Nesis, K. N. (1989) Teuthofauna of the Okhotsk Sea. Distribution and biology of non-coastal species. *Zoologicheskii Zhurnal* **68**: 19-29.
- Nesis, K. T. (1997) Gonatid squids in the subarctic North Pacific: ecology, biogeography, niche diversity and role in the ecosystem. *Advances in Marine Biology* **32**: 243-324.
- 尾形哲男・沖山宗雄・谷野保夫 (1973) トロール漁獲物か

- らみた日本海における深海生物資源の性状. 日本海区水産研究所研究報告 24: 21-51.
- Okiyama, M. (1969) A new species of *Gonatopsis* from the Japan Sea, with the record of a specimen referable to *Gonatopsis* sp. Okutani, 1967. (Cephalopoda: Oegopsida, Gonatidae). *Publications of the Seto Marine Biological Laboratory* 17(1): 19-32.
- 奥谷喬司編著 (2000) 日本近海産貝類図鑑. 東海大学出版会, 東京, 1174pp.
- Okutani, T., Kubodera, T. & Jefferts, K. (1988) Diversity, distribution and ecology of gonatid squids in the subarctic Pacific: a review. *Bulletin of the Ocean Research Institute, University of Tokyo* 26: 159-192.
- Okutani, T. & Nemoto, T. (1964) Squids as the food of sperm whales in the Bering Sea and Alaskan Gulf. *Scientific Reports of the Whales Research Institute* 18: 111-122.
- Okutani, T., Satake, Y., Ohsumi, S. & Kawakami, T. (1976) Squids eaten by sperm whales caught off Joban District, Japan, during January-February 1976. *Bulletin of Tokai Regional Fisheries Research Laboratory* 87: 67-113.
- 玉木哲也・大谷徹也・奥谷喬司 (1990) 日本海但馬沖で採集されたマッコウタコイカ. 兵庫県立水産試験場研究報告 27: 51-54.